

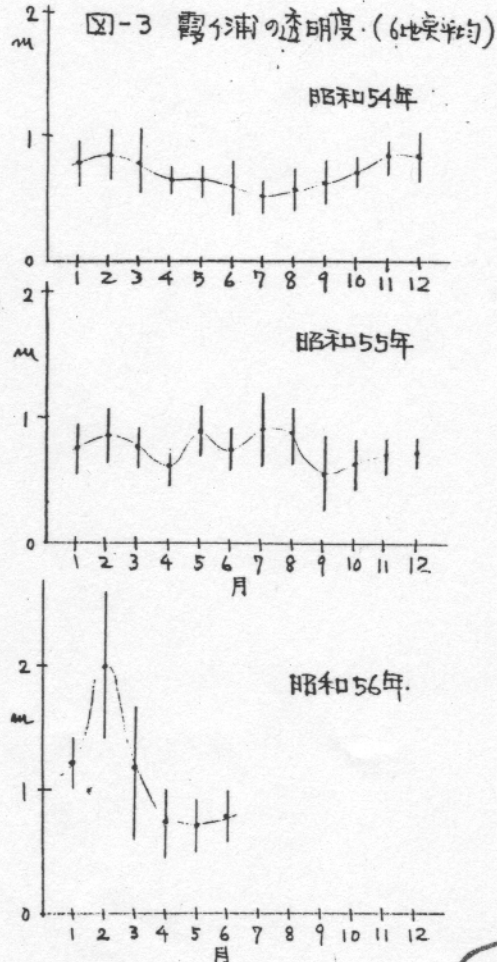
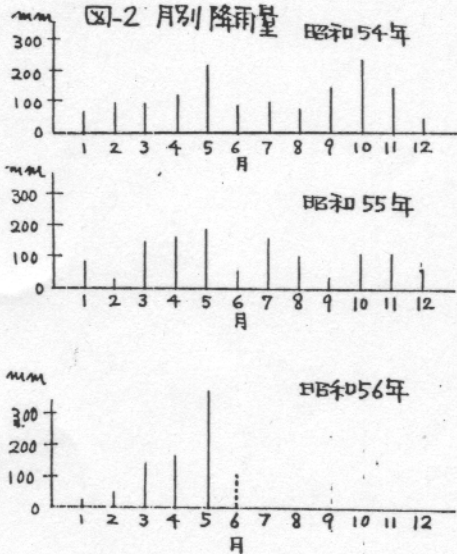
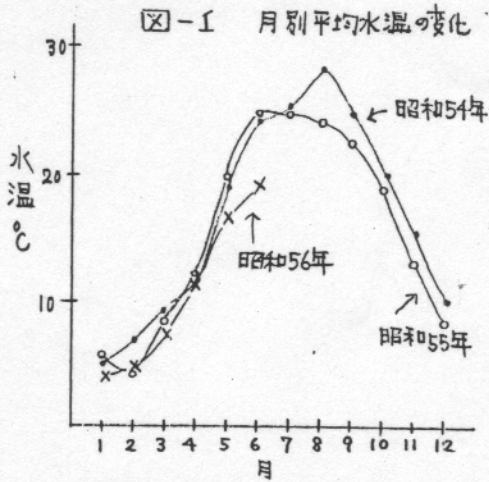
★今年の水質は？

梅雨に入ってから毎日肌寒い日が続  
いていきます。

現在の水温は雨段ヶ浦で20℃を起して  
ません。これを最近のデータと比較し  
てみますと、昨年は異常低温で夏に  
水温が25℃を起せませんでした。6月には  
水温が25℃以下にならなりました。

今年は1月ごろから水温は低目であり  
時に5月6月は異常に低い水温を示  
してあります。(図-1)

雨量をみても(図-2)5月に入ってか  
ら多く300mm以上の雨量を記録して  
います。

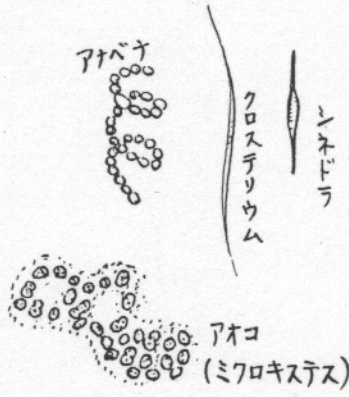


このような気象条件のもとで、水質  
をみてみますと、(図-3)の透明度は  
は雨段ヶ浦の6地実平均で80cmで  
あり例年と比べ変化ありません。

透明度が上昇するにつれ消滅し  
3月以降から珪藻類のシネドラを  
中心としたものが優勢占っており、6月  
現在もほとんど変化はありません。

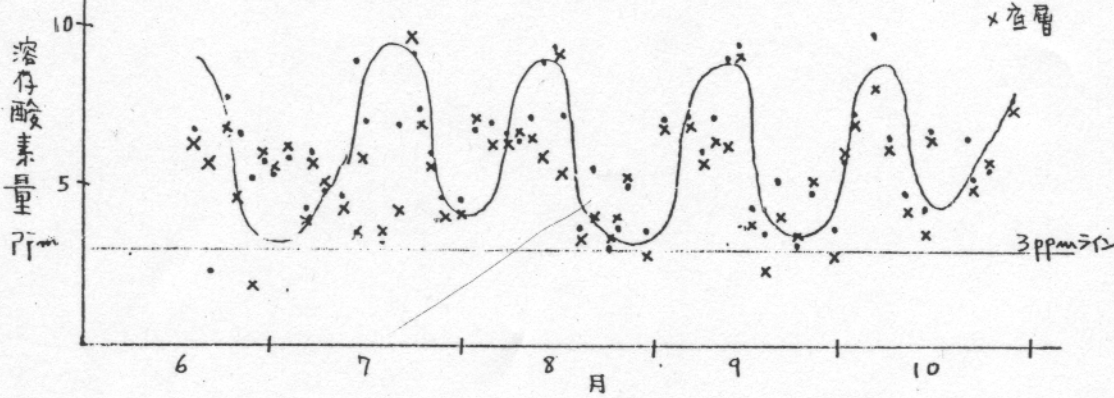
以前から「かわら版」にも書いてま  
まいたが、雨段ヶ浦での植物プランクトン  
で秋から春にかけて緑藻のクロステ  
リウムが発生する年には、夏の水温  
が悪いと云えるようであり、春にこの  
植物プランクトンの種類がなにかが重  
要な意味をもちます。

このため雨段ヶ浦・北浦の水色は  
茶カッ色を呈してあります。



最近の雨段ヶ浦の水質は気象条件  
に大きく左右されていることからみて  
今年の水質は昭和48年や昭和54年  
の年のようなアオコの異常発生は  
起きにくいと考えられます。

図-4 千賀漁場でのDO変化 (昭和55年)



※ 網りけす管理

内水試では例年どおり霞ヶ浦

北浦での酸欠観測を6月15日から

開始しました。現在は週一回の観測ですが状況により、回数を増やしてゆく予定です。

前年から引き続き酸素計を霞ヶ浦、北浦の9地裏に設置し酸素量の測定をお願いしてあります。(表-1)

表-1 酸素計設置漁場

地区名	氏名
大津村	戸島武男
(江川)	菅谷輝雄
北浦村	鳥次耕市
田余	原田理三郎
新治玉川	榎木光一郎
土浦子一	沢田光三
玉造町千賀	樽見二郎
行方	竹石毅平
出島村	桜井謙治

前年度の酸素変化も千賀漁場を例にみてみますと、冷夏の反りかPイコが発生が少なく水質も安定してあり極度の酸欠は起らなかったが、細かくみると周期的に酸素量が変化しています。この傾向は最近では毎年認められる傾向であり、網りけす管理上重要意味をもっています。

酸素量が低下していても鯉の餌摂

が低下しない場合が多く、簡単に餌餌量から水質が悪くなっている状態はつかめません。

梅雨明け前後には現在の珪藻類が枯死しや一回目の水変りを起すことは確定ですから注意下さい。

水質審議会 中間答申

霞ヶ浦、北浦の水質浄化の方策に於いて、当面とるべき措置として窒素リンの削減を基にした方策が示されました。

我々水産としては網りけす養殖からのN・P負荷量を軽減することとなり、中間答申では次の二点対策として示されました。

- ① 無給飼養魚種への転換により鯉の生産量を削減する。
- ② 飼料改善による負荷量の低減する。

内水試としては、これら答申を基に飼料試験、無給飼養魚種としてテラピアの養殖技術開発試験を実施中ですので協力下さい。

霞ヶ浦の水位 (I) 水位

霞ヶ浦の水位は古くから記録されており、昭和50年からは水位が管理されており、以前のように梅雨前まで低水位、秋に高水位という変化はみられなくなりました。

ミミでは昭和41年からの月

平均水位を

示して

昭和43年夏の

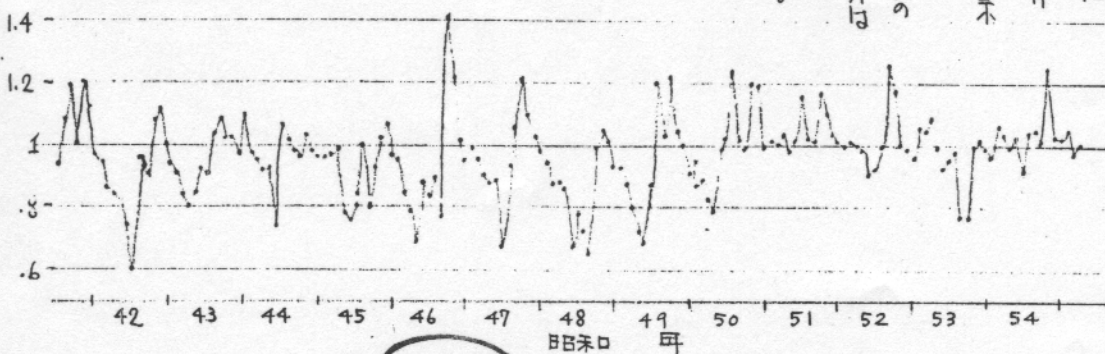
渇水時以外は

Y.P. 1m以上

となり

牛堀水位 (月平均水位)

Y.P. (M) 水位



茨内水試図